

2	法定	自主
	○	

産業廃棄物処理計画書

令和 6年 6月 18日

神奈川県知事 殿



提出者
住 所 神奈川県高座郡寒川町一宮6-11-1
旭ファイバーグラス株式会社 湘南工場
氏 名 工場長 大岡 裕幸
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 0467-75-2121

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	旭ファイバーグラス株式会社 湘南工場			自主管理事業登録番号 (1214)
事業場の所在地	神奈川県高座郡寒川町一宮6-11-1			TEL(連絡先): 0467-75-2121
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年間)			
当該事業場に関する事項				
① 事業の種類	E21-窯業・土石製品製造業 (具体的には) ガラス繊維製品の製造及び加工業			
② 事業の規模 ※ 前年度実績を記入、医療機関は前年度末時点の病床数を記入。	製造業	製造品出荷額	41,149 百万円	
	建設業	エリア内元請完成工事高	百万円	
	医療機関	病床数	床	
	その他の業種	売上高	百万円	
	(上記項目に該当しない場合にはこちらに記載をしてください。)			
③ 従業員数	全社: 509人 当該事業場: 303人			
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程 ※ 産業廃棄物の種類ごとに記入	各種類毎に発生から分別作業(各部門) 分別状況確認～保管所定場所への回収・運搬作業(構内協力企業) 保管量確認～配車手配～搬出作業～搬出記録管理(資材グループ)			

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙添付

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度(令和 5 年度)実績】		
	産業廃棄物の種類数	9 種類	* 種類ごとの前年度排出量は、別紙のとおり。
	① 排出量	21,092.1 t	
	(これまでに実施した取組)		
	生産ライン工程改善、歩留まり向上		
② 計画	【(令和 6 年度)目標】		
	産業廃棄物の種類数	9 種類	* 種類ごとの本年度排出目標量は、別紙のとおり。
	① 排出量	20,996.8 t	
	(今後実施する予定の取組)		
	生産ライン工程改善の継続及び設備改善		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)	
	有価品促進による分別強化。	
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)	
	上記同様の取り組み、強化。	

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度(令和 5 年度)実績】		
	②+⑧ 自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	8,687.6 t	* 種類ごとの前年度自ら再生利用量は、別紙のとおり。
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	工場内設置のリサイクル専用窯にて再資源化し製品用原料として再利用。		
	【(令和 6 年度)目標】		
	②+⑧ 自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	9,000.0 t	* 種類ごとの本年度自ら再生利用量は、別紙のとおり。
	(今後実施する予定の取組)		
	現状を継続し設備改善等を行い歩留まり向上に努める。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度(令和 5 年度)実績】		
	⑤ 自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	* 種類ごとの前年度自ら熱回収を行った量は、別紙のとおり。
	⑦ 自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	* 種類ごとの前年度自ら中間処理により減量した量は、別紙のとおり。
② 計画	(これまでに実施した取組)		
	鉄くず等の分別及び廃プラの分別強化により有価品売却促進を図る。		
	【(令和 6 年度)目標】		
	⑤ 自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	* 種類ごとの本年度自ら熱回収を行う量は、別紙のとおり。
	⑦ 自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	* 種類ごとの本年度自ら中間処理により減量する量は、別紙のとおり。
	(今後実施する予定の取組)		
	場内で分別できない箇所を産廃業者を入れて分別を強化、廃棄物を減らすとともに有償売却促進を図る。		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度(令和 5 年度)実績】			
	③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0	t	* 種類ごとの前年度自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量は、別紙のとおり。
	(これまでに実施した取組)			
② 計画	【(令和 6 年度)目標】			
	③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		t	* 種類ごとの本年度自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う量は、別紙のとおり。
	(今後実施する予定の取組)			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

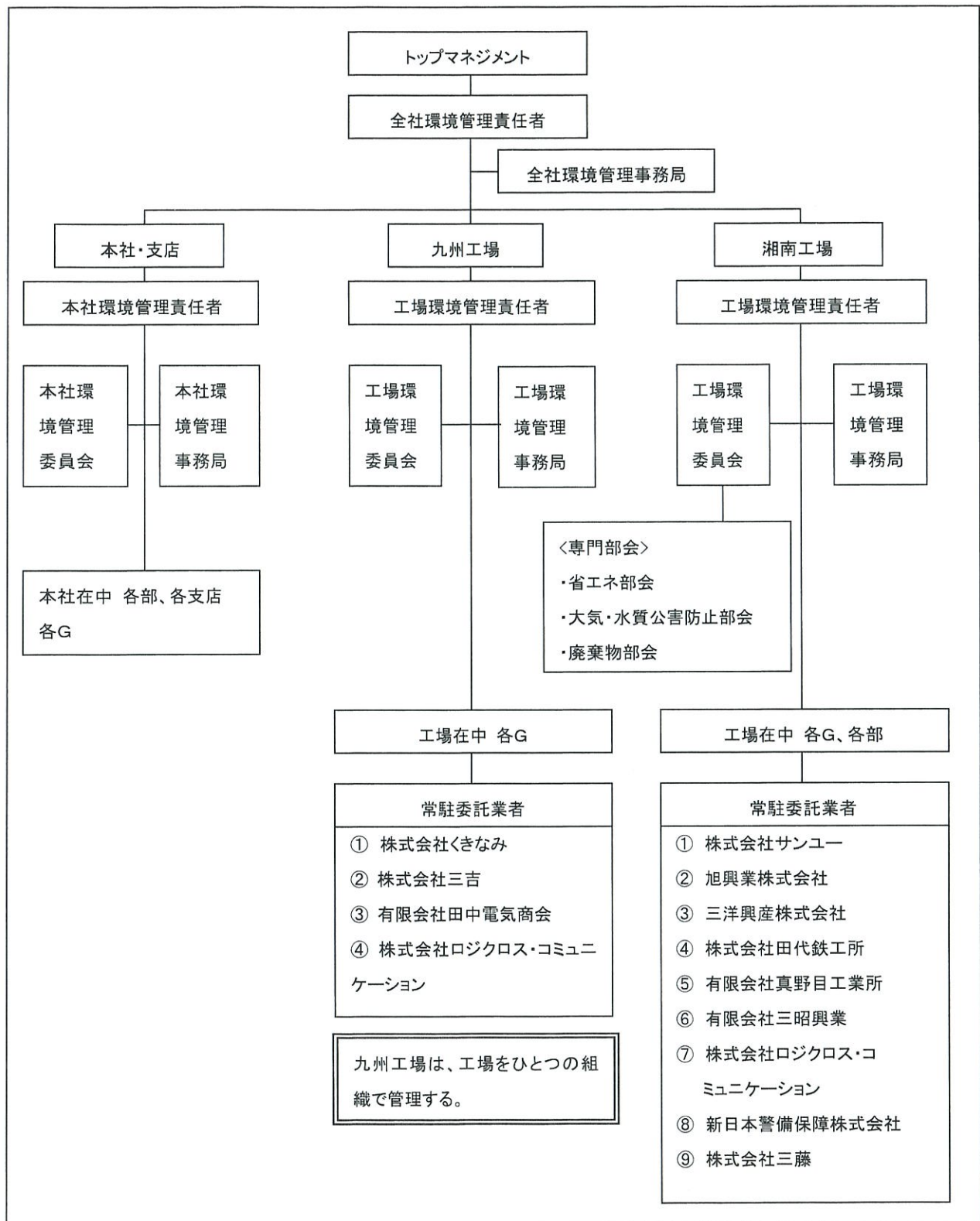
① 現状	【前年度(令和 5 年度)実績】			* 種類ごとの前年度処理委託量は、別紙のとおり。
	⑩ 全処理委託量	12,404.5	t	
	⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0	t	
	⑫ 再生利用業者への処理委託量	12,404.5	t	
	⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0	t	
	⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	t	
	(これまでに実施した取組)			

備考

- 1 この様式は、前年度(令和5年度)の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成し、提出してください。
また、前年度(令和5年度)の産業廃棄物の発生量が1,000トン未満の事業場にあつては、神奈川県・横浜市・川崎市・相模原市・横須賀市が推進する廃棄物自主管理事業へ参加するにあたり、事業場ごとに1枚作成し、提出してください。
- 2 当該年度(令和6年度)の6月30日までに提出してください。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入してください。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類(中分類)の区分を記入してください。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入してください。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入してください。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入してください。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入してください。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付してください。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入してください。
- 7 第5面の※欄には、何も記入しないでください。

1 体制

図 5-2 環境マネジメント実施体制



産業廃棄物処理計画書

別紙一括表

事業場名称：旭フアイバーグラス株式会社 湖南工場

別紙-括表

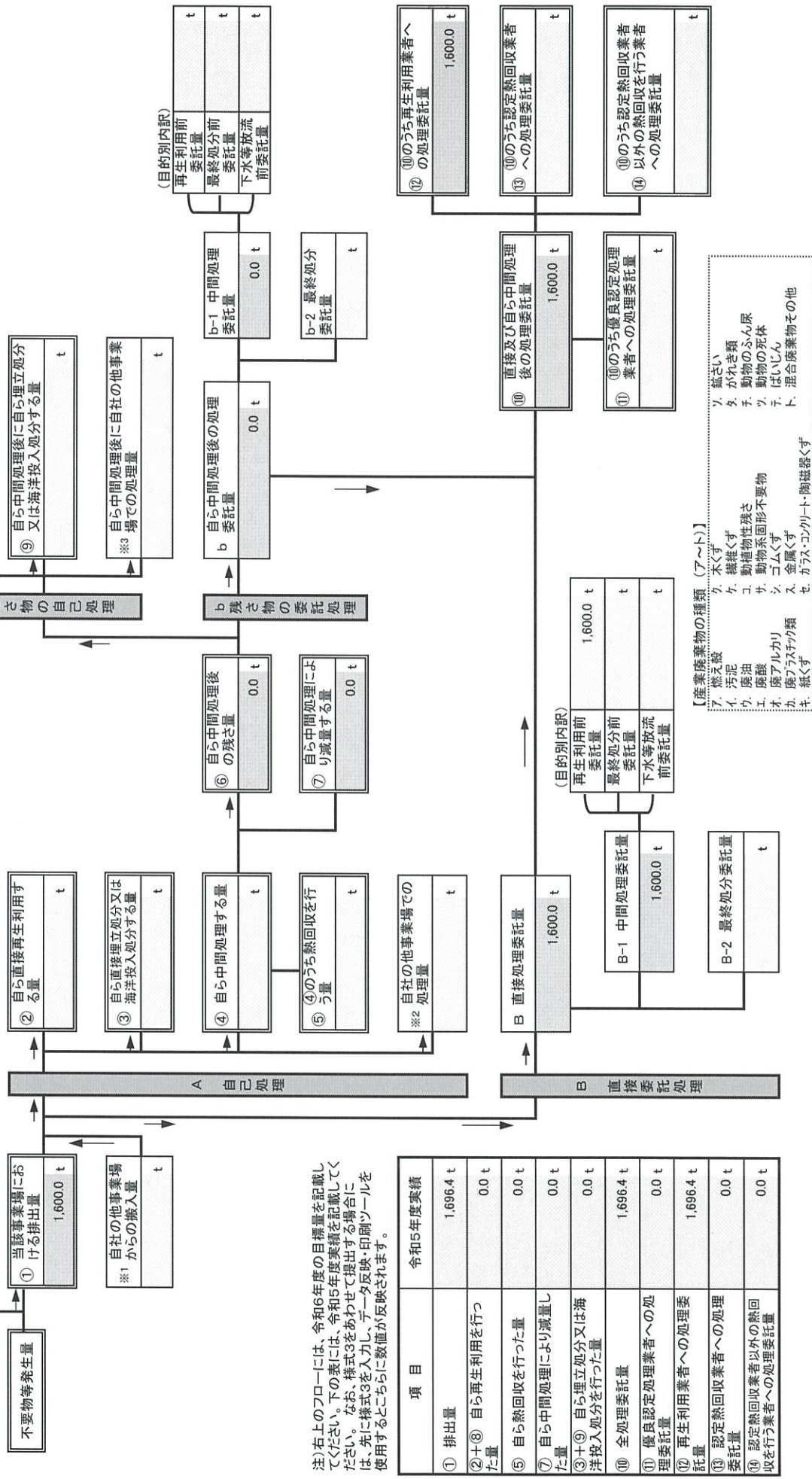
事業場名称：旭ファイバークラス株式会社 湘南工場

2-1		法定	自主														
		(単位：トン)															
		ト	計														
		混合廃棄物 その他	合計														
		ばいじん															
		動物の死体															
		動物のふん尿															
		タケがれき類															
		ソビニ															
		セメント															
		金属くず															
		ゴムくず															
		サリコ															
		動植物性残さ															
		繊維くず															
		ク木くず															
		キ紙くず															
		カラスチヤク															
		オシリ															
		エ酸															
		ウ油															
		イ泥															
		ア燃え殻															
令和5年度実績	① 排出量	1,696.4	7.2	411.2	9,375.1	611.8	1.7	94.4	0.1	8,894.2							21,092.1
	②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0	0	0	0	0	0	0	0	8,687.6							8,687.6
	⑤ 自ら熱回収を行った量	0	0	0	0	0	0	0	0	0							0
	⑦ 自ら中間処理により減量した量	0	0	0	0	0	0	0	0	0							0
	③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0	0	0	0	0	0	0	0	0							0
	⑩ 全処理委託量	1,696.4	7.2	411.2	9,375.1	611.8	1.7	94.4	0.1	206.6							12,404.5
	⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0							0
	⑫ 再生利用業者への処理委託量	1,696.4	7.2	411.2	9,375.1	611.8	1.7	94.4	0.1	206.6							12,404.5
	⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0							0
	⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0							0
	① 当該事業場における排出量	1,600.0	5.0	400.0	9,000.0	600.0	1.6	90.0	0.2	9,300.0							20,996.8
	※1 自社の他事業場からの搬入量																
	② 自ら直接再生利用する量									9,000.0							9,000.0
	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分する量																
	④ 自ら中間処理する量																
	⑤ ④のうち熱回収を行う量																
	※2 自社の他事業場での処理量																
	⑥ 自ら中間処理後の残さ量																
	⑦ 自ら中間処理により減量する量																
A	自己処理																
令和6年度目標	⑧ 自ら中間処理後に再生利用する量																
	⑨ 自ら中間処理後に自ら埋立処分又は海洋投入処分する量																
	※3 自ら中間処理後に自社の他事業場での処理量																
	b 自ら中間処理後の処理委託量																
	b-1 中間処理委託量																
	再生利用前委託量																
	最終処分前委託量																
	下水等放流前委託量																
	b-2 最終処分委託量																
B	直接処理委託量	1,600.0	5.0	400.0	9,000.0	600.0	1.6	90.0	0.2	300.0							11,996.8
B 直接委託処理	B-1 中間処理委託量	1,600.0	5.0	400.0	9,000.0	600.0	1.6	90.0	0.2	300.0							11,996.8
	再生利用前委託量	1,600.0	5.0	400.0	9,000.0	600.0	1.6	90.0	0.2	300.0							11,996.8
	最終処分前委託量																
	下水等放流前委託量																
	B-2 最終処分委託量																
⑩ 直接及び自ら中間処理後の処理委託量	1,600.0	5.0	400.0	9,000.0	600.0	1.6	90.0	0.2	300.0							11,996.8	
⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量																	
⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量	1,600.0	5.0	400.0	9,000.0	600.0	1.6	90.0	0.2	300.0							11,996.8	
⑬ ⑩のうち認定熱回収業者への処理委託量																	
⑭ ⑩のうち認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量																	

別紙処理口—

フローに記載した産業 廃棄物の種類	イ. 汚泥
----------------------	-------

(单位:t/年)



注) 右上のフローには、令和6年度の目標量を記載してください。下の表には、令和5年度実績を記載してください。なお、様式3をあくまで提出する場合に、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとこちらに数値が反映されます。

項目	令和5年度実績
① 排出量	1,696.4 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	1,696.4 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	1,696.4 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

【産業廃棄物の種類（ア～ト）】

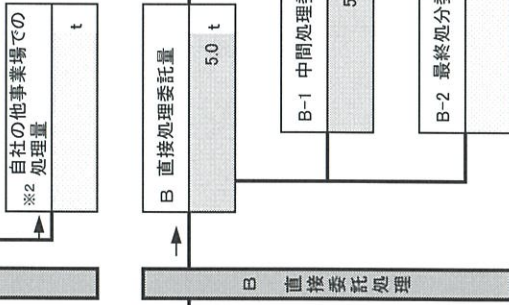
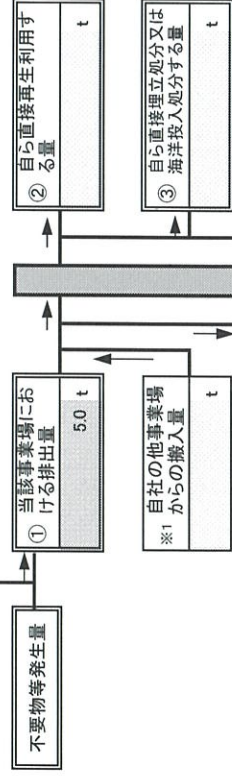
ソ. 鋳さい
タ. がれき類
チ. 動物のふん尿
ツ. 動物の死体
テ. ばいじん
ト. 混合廃棄物その他

キ. 紙くず
セ. ガラス・コンクリート・陶磁器くず

別紙処理口—

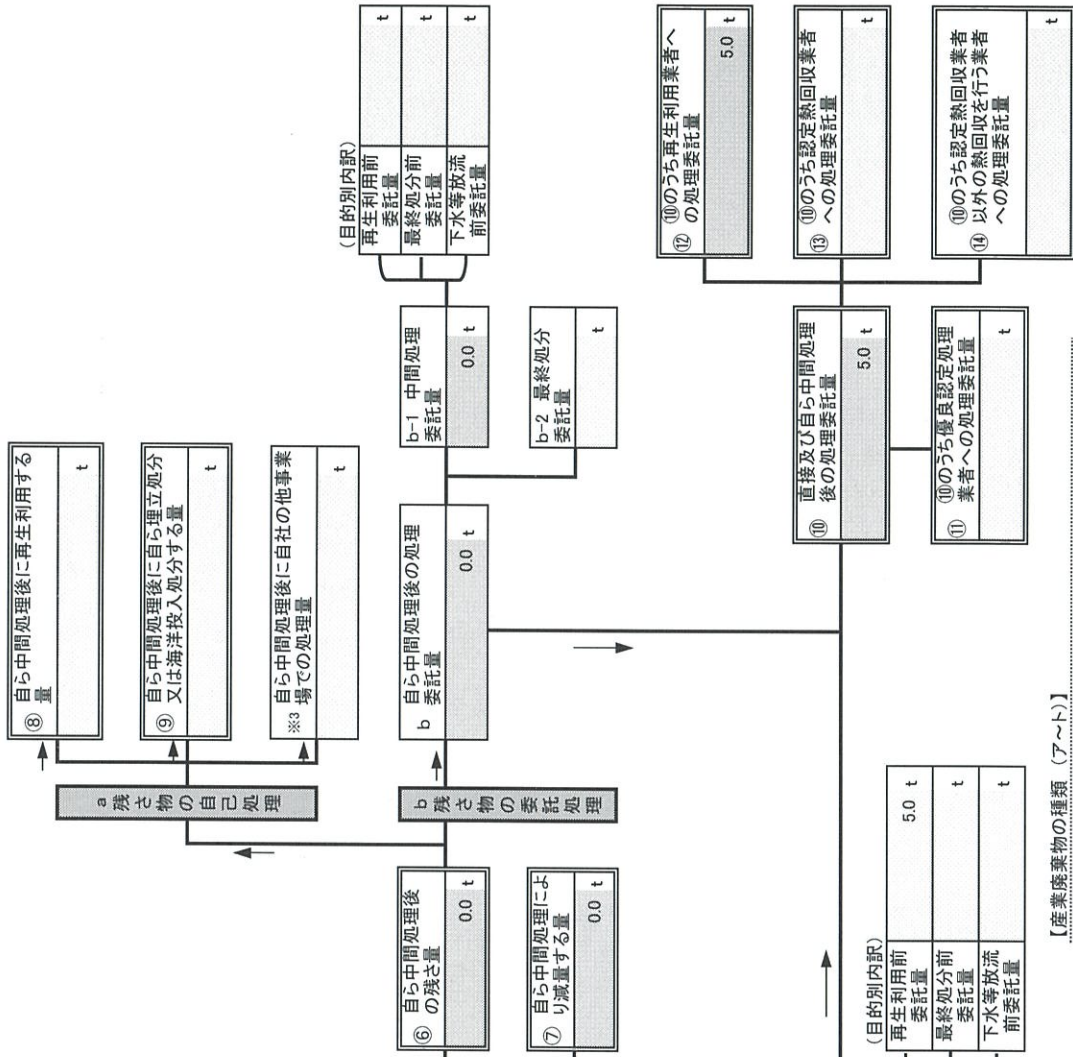
フローに記載した産業 廃棄物の種類	ウ. 廃油
----------------------	-------

(单位:t/年)



項 目	令和5年度実績
① 排出量	7.2 t
②+③ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+④ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	7.2 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	7.2 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

注)右上のフローには、令和6年度の目標量を記載していただく。下の表には、令和5年度実績を記載していただく。なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとこちらに数値が反映されます。



【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】

7. 燃え殻
8. 汚泥
9. 廃油
10. 廃酸
11. エオールカリ
12. 炭酸カルシウム
13. 炭酸ナトリウム
14. 炭酸アンモニウム
15. 炭酸水素ナトリウム
16. 炭酸水素アンモニウム
17. 炭酸水素カルシウム
18. 炭酸水素マグネシウム
19. 炭酸水素鉄
20. 炭酸水素銅
21. 炭酸水素鉛
22. 炭酸水素鋅
23. 炭酸水素亜鉛
24. 炭酸水素錳
25. 炭酸水素ニッケル
26. 炭酸水素コバルト
27. 炭酸水素クロム
28. 炭酸水素マンガン
29. 炭酸水素バリウム
30. 炭酸水素ストロンチウム
31. 炭酸水素ラジウム
32. 炭酸水素セシウム
33. 炭酸水素フランシウム
34. 炭酸水素アクチン
35. 炭酸水素トランサム
36. 炭酸水素ウラン
37. 炭酸水素ニオブ
38. 炭酸水素タングステン
39. 炭酸水素モリブデン
40. 炭酸水素バナジウム
41. 炭酸水素ニッケル
42. 炭酸水素コバルト
43. 炭酸水素クロム
44. 炭酸水素マンガン
45. 炭酸水素バリウム
46. 炭酸水素ストロンチウム
47. 炭酸水素ラジウム
48. 炭酸水素セシウム
49. 炭酸水素フランシウム
50. 炭酸水素アクチン
51. 炭酸水素トランサム
52. 炭酸水素ウラン
53. 炭酸水素ニオブ
54. 炭酸水素タングステン
55. 炭酸水素モリブデン
56. 炭酸水素バナジウム
57. 炭酸水素ニッケル
58. 炭酸水素コバルト
59. 炭酸水素クロム
60. 炭酸水素マンガン
61. 炭酸水素バリウム
62. 炭酸水素ストロンチウム
63. 炭酸水素ラジウム
64. 炭酸水素セシウム
65. 炭酸水素フランシウム
66. 炭酸水素アクチン
67. 炭酸水素トランサム
68. 炭酸水素ウラン
69. 炭酸水素ニオブ
70. 炭酸水素タングステン
71. 炭酸水素モリブデン
72. 炭酸水素バナジウム
73. 炭酸水素ニッケル
74. 炭酸水素コバルト
75. 炭酸水素クロム
76. 炭酸水素マンガン
77. 炭酸水素バリウム
78. 炭酸水素ストロンチウム
79. 炭酸水素ラジウム
80. 炭酸水素セシウム
81. 炭酸水素フランシウム
82. 炭酸水素アクチン
83. 炭酸水素トランサム
84. 炭酸水素ウラン
85. 炭酸水素ニオブ
86. 炭酸水素タングステン
87. 炭酸水素モリブデン
88. 炭酸水素バナジウム
89. 炭酸水素ニッケル
90. 炭酸水素コバルト
91. 炭酸水素クロム
92. 炭酸水素マンガン
93. 炭酸水素バリウム
94. 炭酸水素ストロンチウム
95. 炭酸水素ラジウム
96. 炭酸水素セシウム
97. 炭酸水素フランシウム
98. 炭酸水素アクチン
99. 炭酸水素トランサム
100. 炭酸水素ウラン

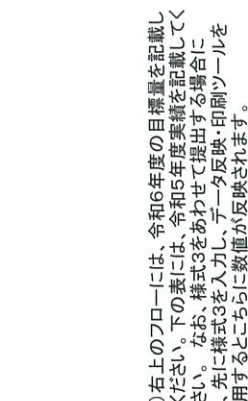
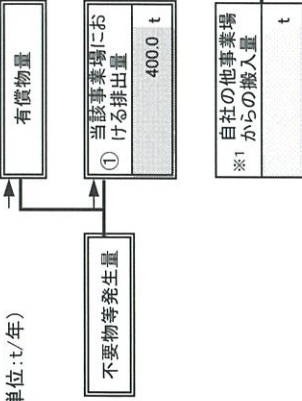
産業廃棄物処理計画書

別紙処理フロー

令和6年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

産業廃棄物の種類	工 廃酸
フローに記載した産業廃棄物の種類	
※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。	

(単位: t/年)

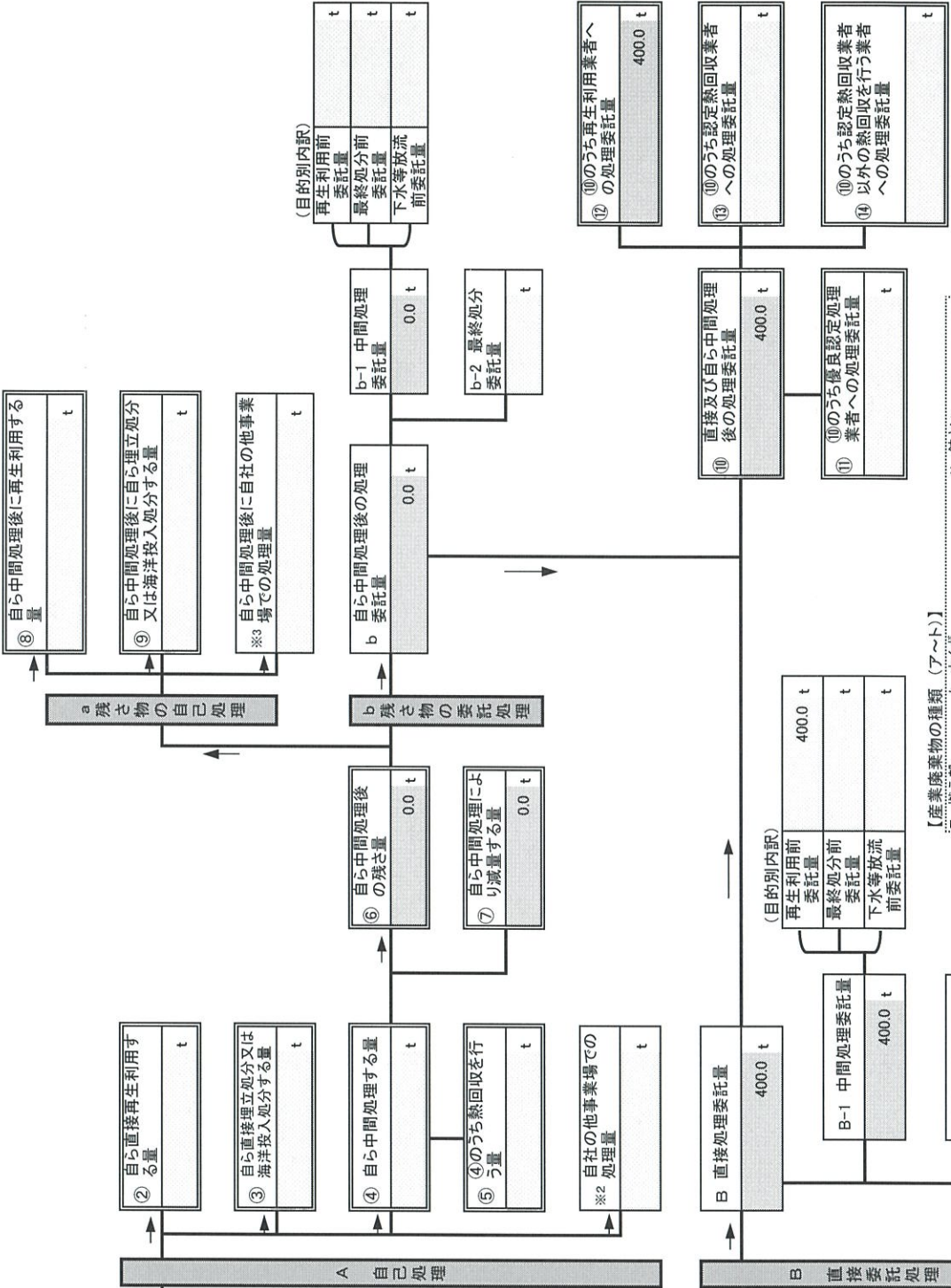


注) 右上のフローには、令和6年度の目標量を記載してください。下の表には、令和5年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するところに数値が反映されます。

項目	令和5年度実績
① 排出量	411.2 t
②+③ 自らの再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自らの熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自らの中間処理により減量した量	0.0 t
③+④ 自らの埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	411.2 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	411.2 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

事業場名称 : 旭ファイバークラス株式会社 湘南工場

2-2	法定	自主
	○	



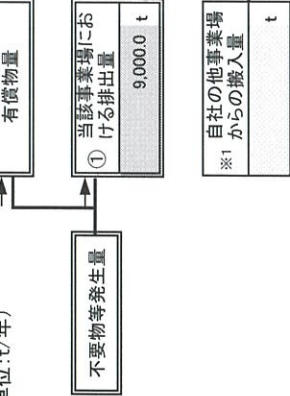
産業廃棄物処理計画書

別紙処理フロー

令和6年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

産業廃棄物の種類	オ、廃アルカリ
※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。	

(単位: t/年)

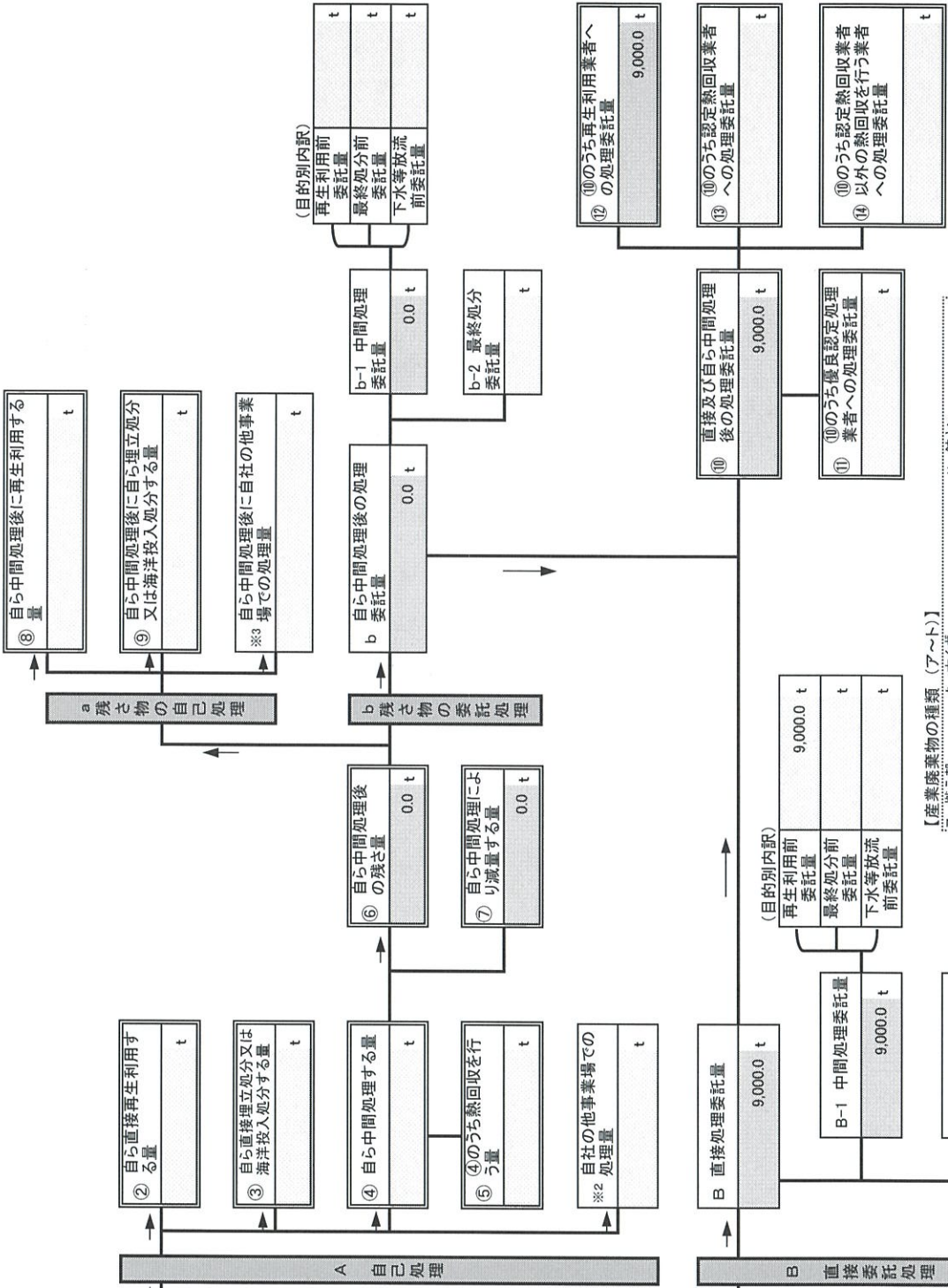


注) 右上のフローには、令和6年度の目標量を記載してください。下の表には、令和5年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとこちらに数値が反映されます。

項目	令和5年度実績
① 排出量	9,375.1 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	9,375.1 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	9,375.1 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

事業場名称 : 旭ファイバーグラス株式会社 湘南工場

2-2	法定	自主
	○	



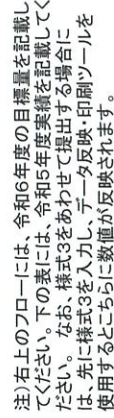
【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】

- ア. 燃え殻
- イ. 汚泥
- ウ. 廃油
- エ. 廃酸
- オ. 廃アルカリ
- カ. 廃プラスチック類
- キ. 紙くず
- ク. 木くず
- ケ. 繊維くず
- コ. 動植物性残さ
- サ. 動物系固形不燃物
- シ. ゴムくず
- ス. 金属くず
- セ. ガラス・コンクリート・陶磁器くず
- リ. 鉱さい
- タ. かれき類
- チ. 動物のふん尿
- ツ. 動物の死体
- テ. ばいじん
- ト. 混合廃棄物その他

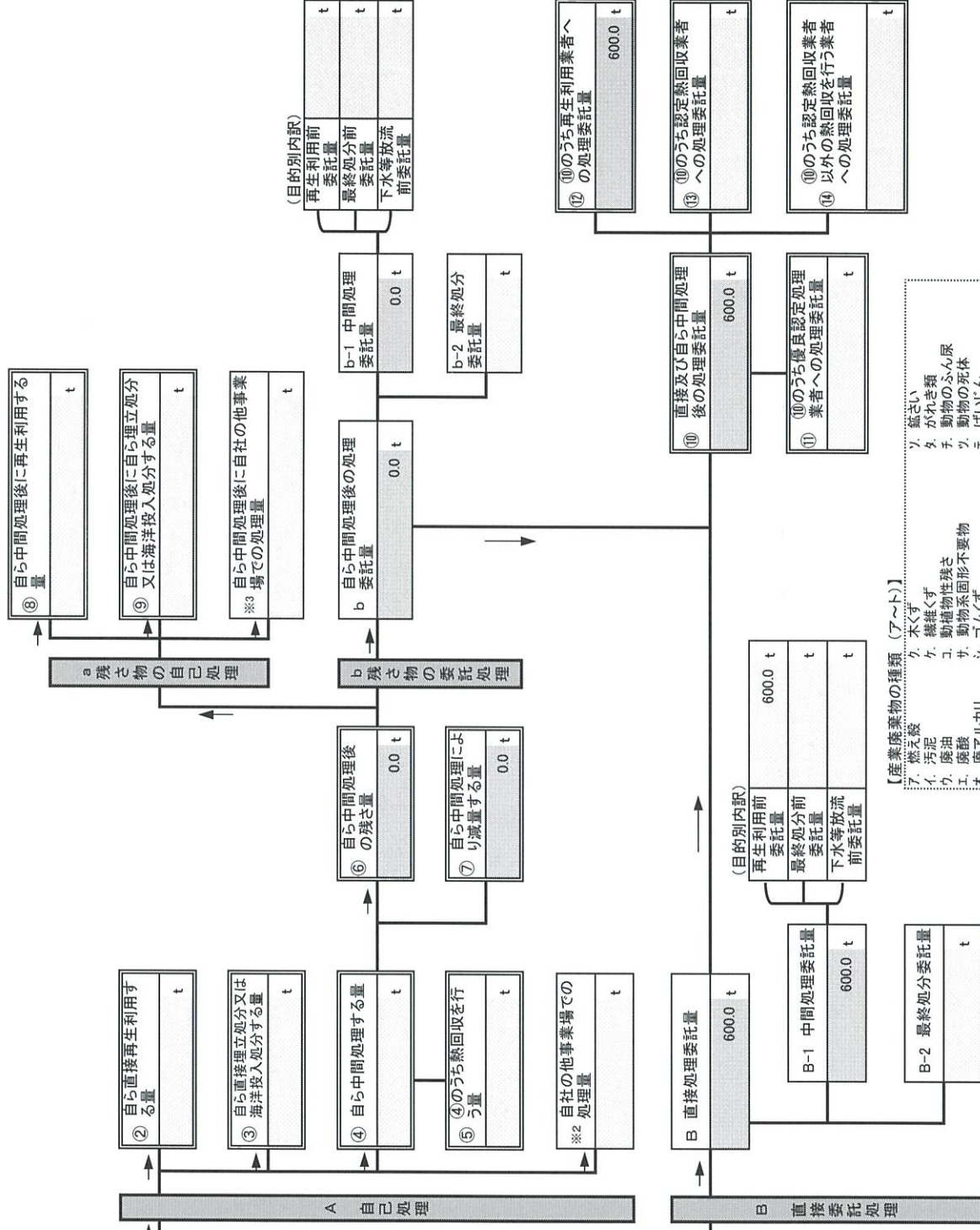
別紙処理口一

力、廃プラスチック類

(单位:t/年)



項目	令和5年度実績
① 排出量	611.8 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	611.8 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	611.8 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

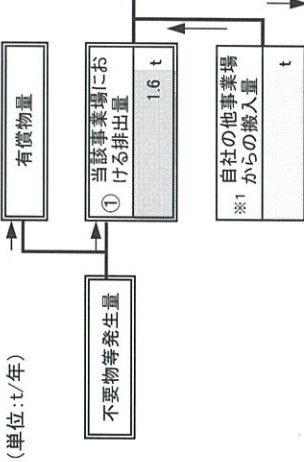
[illegible][illegible]

産業廃棄物処理計画書

別紙処理フロー

令和6年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

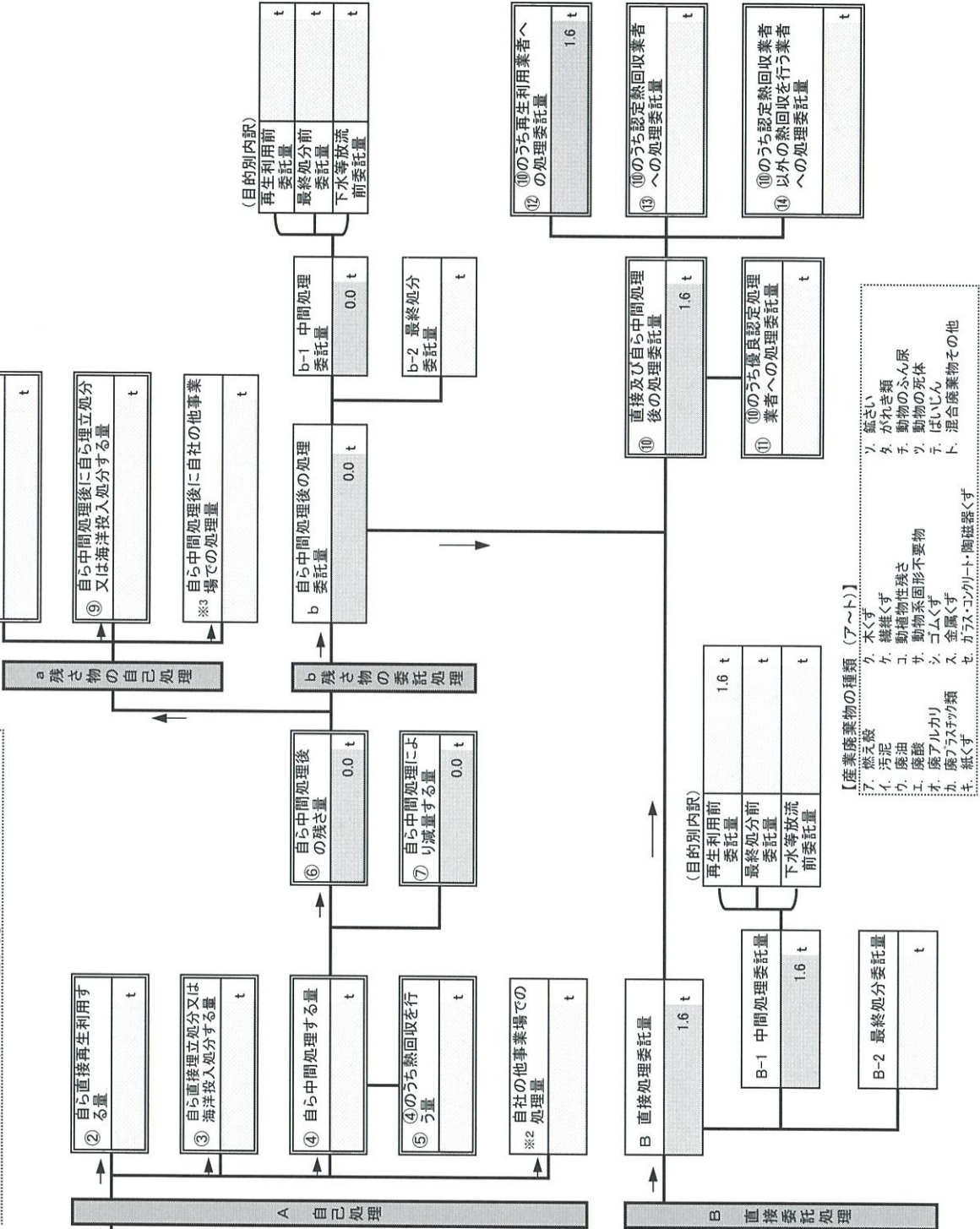
【本用紙に記載した産業廃棄物の種類】
※ 本用紙は産業廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。



注) 右上のフローには、令和6年度の目標量を記載してください。下の表には、令和5年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとこちらに数値が反映されます。

項目	令和5年度実績
① 排出量	1.7 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ 自ら埋入処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	1.7 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	1.7 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

【紙くず】には業種指定があり、該当業種以外では一般廃棄物となり、報告対象外です。
【該当業種】パルプ、紙又は紙加工品の製造業、新聞業（新聞巻取紙を使用して印刷発行を行うもの）、出版業（印刷出版を行うもの）、製本業、印刷物加工業、建設業（工作物の新築、改築、除去に伴って生じたもの）



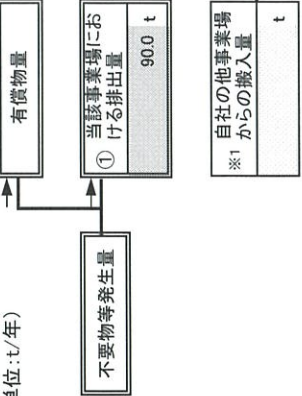
産業廃棄物処理計画書

別紙処理フロー

令和6年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

【本紙に記載した産業廃棄物の種類】 ク、木くず
※ 本用紙は産業廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる産業廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位: t/年)



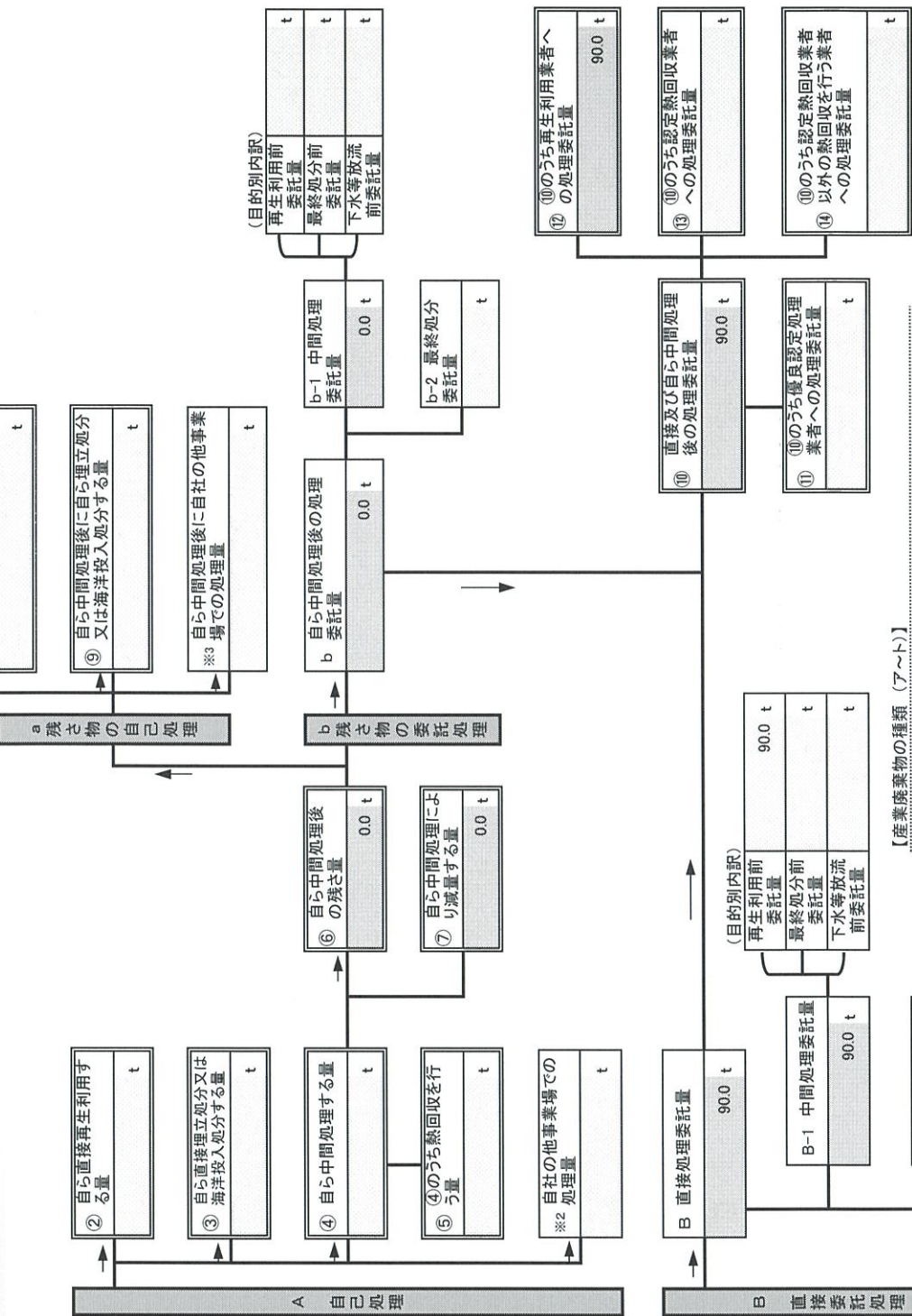
注) 右上のフローには、令和6年度の目標量を記載してください。下の表には、令和5年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとこちらに数値が反映されます。

項目	令和5年度実績
① 排出量	94.4 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	94.4 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	94.4 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

事業場名称 : 旭ファイバーグラス株式会社 湘南工場

2-2	法定	自主
	○	

「木くず」には業種指定等があり、該当業種以外では一般廃棄物となり、報告対象外です。
【該当業種】木材又は木製品の製造業(家具製造業を含む)、パルプ製造業、輸入木材の卸売業及び物品買入れ業に属するもの、建設業(工作物の新築、改築、除去に伴って生じたもの)。
【全業種対象】貨物の流通のために使用したパレット(パレットへの貨物の積付けのために使用したパレットを含む。)



- 【産業廃棄物の種類 (7~10)】
- ア、燃え殻
 - イ、汚泥
 - ウ、動植物性残さ
 - エ、廃酸
 - オ、廃アルカリ
 - カ、プラスチック類
 - キ、紙くず
 - ク、木くず
 - ケ、繊維くず
 - コ、動植物性残さ
 - サ、動物系固形不燃物
 - シ、ゴムくず
 - ス、金属くず
 - セ、ガラス・コンクリート・陶磁器くず
 - ソ、鉱さい
 - タ、がれき類
 - チ、動物のふん尿
 - ツ、動物の死体
 - テ、ばいじん
 - ト、混合廃棄物その他

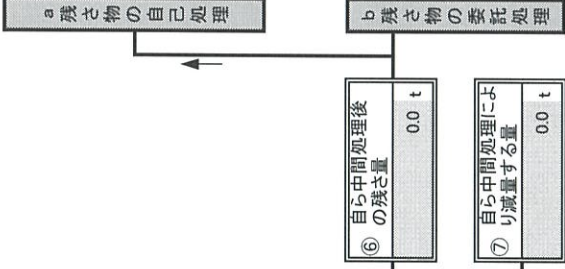
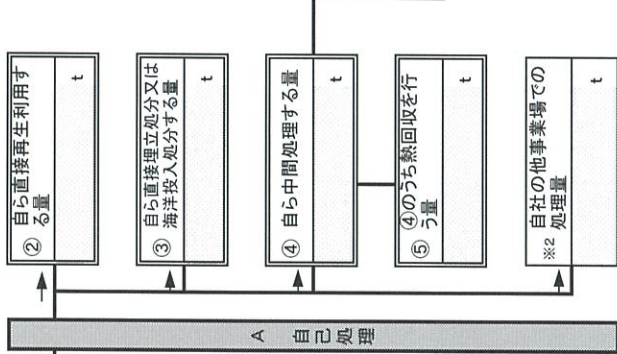
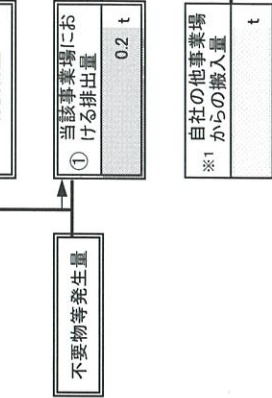
産業廃棄物処理計画書

別紙処理フロー

令和6年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

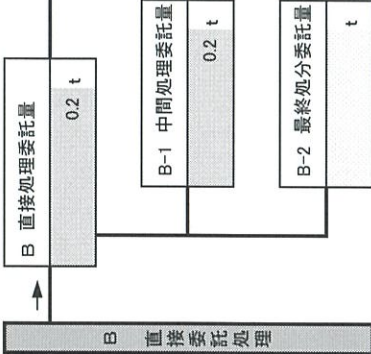
【産業廃棄物の種類】ス、金属くず
※ 本用紙は産業廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる産業廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位: t/年)



注) 右上のフローには、令和6年度の目標量を記載してください。下の表には、令和5年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとこちらに数値が反映されます。

項目	令和5年度実績
① 排出量	0.1 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	0.1 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0.1 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t



【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】

- ア. 燃え殻
- イ. 汚泥
- ウ. 廃油
- エ. 廃酸
- オ. 廃アルカリ
- カ. 紙くず
- キ. 繊維くず
- ク. 金属くず
- ケ. 動植物性残さ
- コ. 動物系固形不要物
- サ. ゴムくず
- シ. プラスチック類
- ス. 陶磁器くず
- セ. 金属くず
- ソ. 鉱さい
- タ. がれき類
- チ. 動物のふん尿
- ツ. 動物の死体
- テ. ばいじん
- ト. 混合廃棄物その他

事業場名称 : 旭ファイバーグラス株式会社 湘南工場

産業廃棄物処理計画書

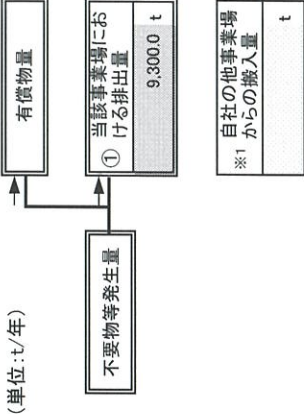
別紙処理フロー

令和6年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

産業廃棄物の種類	セ. ガラス・コンクリート・陶磁器くず
不要物等発生量	9,300.0 t
当該事業場における排出量	9,300.0 t
※1 自社の他事業場からの搬入量	t

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位: t/年)



注) 右上のフローには、令和6年度の目標量を記載してください。下の表には、令和5年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとこちらに数値が反映されます。

項目	令和5年度実績
① 排出量	8,894.2 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	8,687.6 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	206.6 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	206.6 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

【産業廃棄物の種類 (7~10)】

- ア. 燃え殻
- イ. 汚泥
- ウ. 汚油
- エ. 廃酸
- オ. 廃アルカリ
- カ. 廃プラスチック類
- キ. 紙くず
- ク. 木くず
- ケ. 繊維くず
- コ. 動植物性残さ
- サ. 動物系固形不燃物
- シ. ゴムくず
- ス. 金属くず
- セ. ガラス・コンクリート・陶磁器くず
- ソ. 鉱さい
- タ. かれき類
- チ. 動物のふん尿
- ツ. 動物の死体
- テ. ばいじん
- ト. 混合廃棄物その他

事業場名称 : 旭ファイバーグラス株式会社 湘南工場

2-2	法定	自主
	○	